

# 資料3 プロジェクト実施前の説明資料

YAMONO SENKOU CO.,LTD.

12-4, 5cho,Harayamadai,Minami-ku,Sakai-city,590-0132 Osaka, Japan

別添 :1

対象設備低格能力

当該ボイラ(1台あたりの仕様を示す)

項目	転換前対象設備	転換後対象設備
炉メーカー	川崎冷熱工業株式会社	三浦工業株式会社
型式	KS-50	SQ-2000ZS
能力	6000kg/hr.	2000kg/hr.
最高仕様圧力	0.98MPa	0.98MPa
最大燃焼量	660Lit./hr,	115.8Nm <sup>3</sup> /hr.
燃料種別	灯油	都市ガス
原油換算燃料使用量		—
合計能力	6000kg/hr.	6000kg/hr.(3基)

YAMANO SENKOU CO.,LTD.  
12-4, 5cho,Harayamadai,Minami-ku,Sakai-city, 590-0132 Osaka, Japan

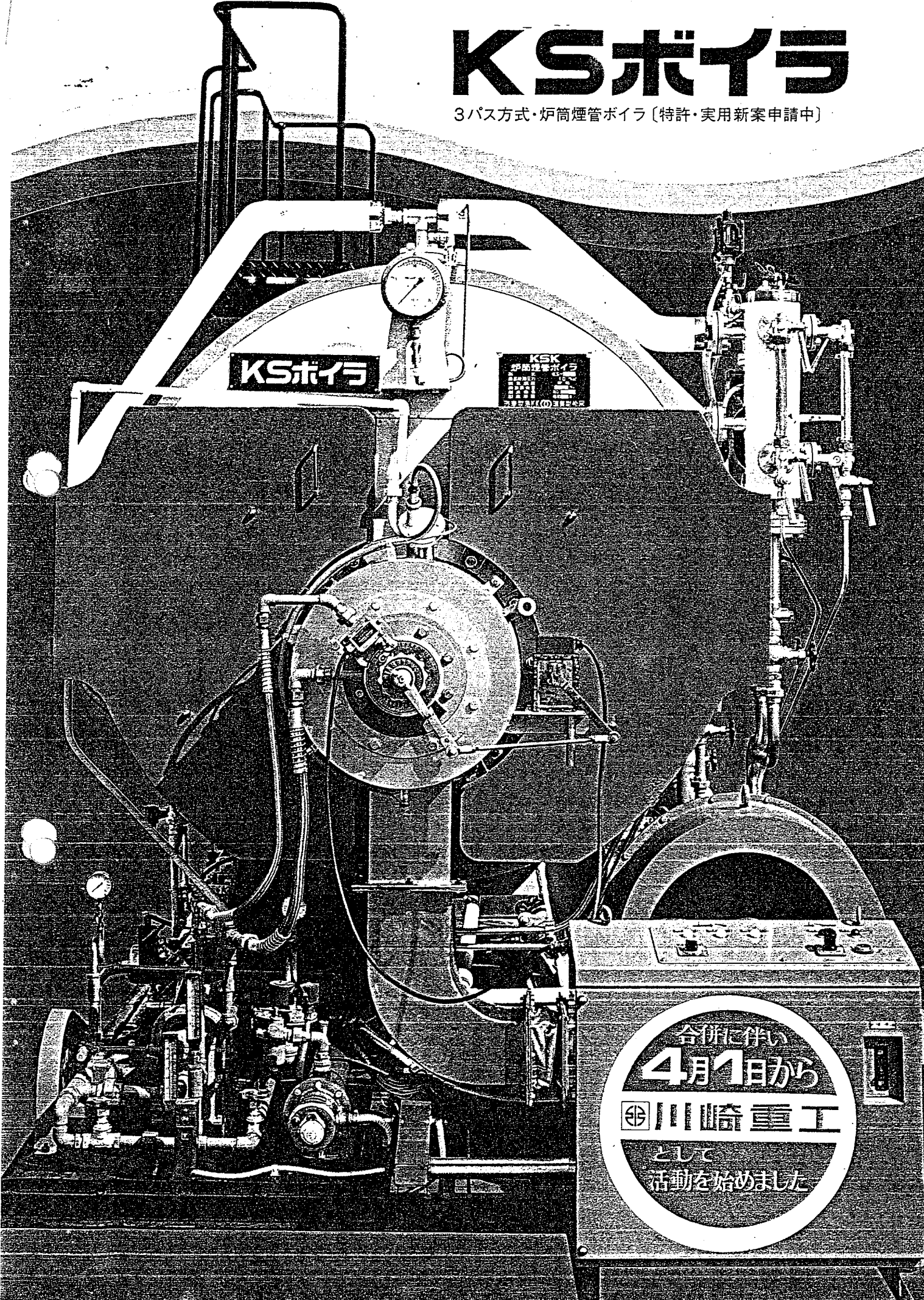
別添 :2

轉換前対象設備仕様

項 目	
製 造 会 社	川崎冷熱工業株式会社
型 式	KS-50
伝 熱 面 積	64.30 m <sup>2</sup>
最 高 使 用 圧 力	0.98 Mpa
最 大 蒸 発 量	6000.Lit/hr.
燃 料	灯油
電 源	AC200V 60Hz.
製 造 番 号	11491
製 造 年 月 日	1986.12

# KSボイラ

3パス方式・炉筒煙管ボイラ〔特許・実用新案申請中〕

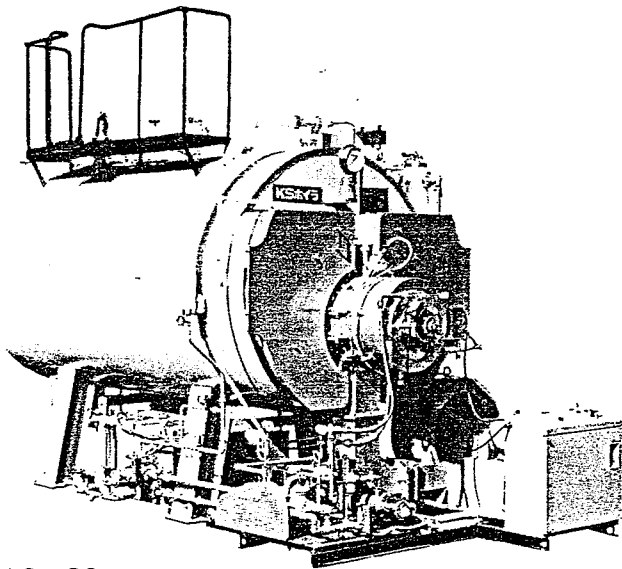


KSボイラ

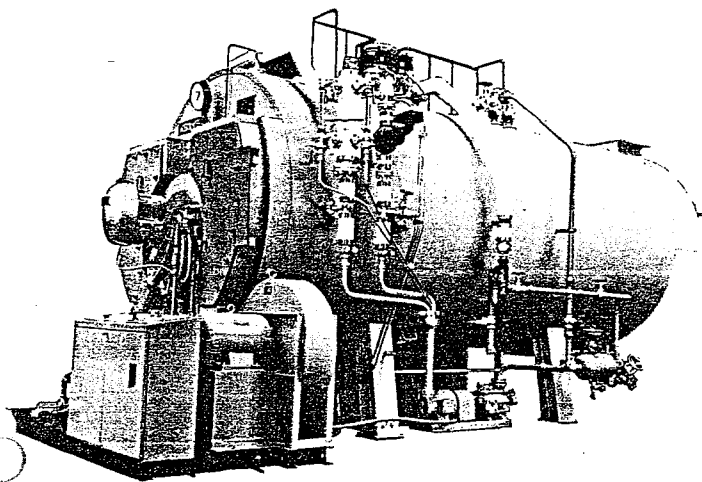
KSK  
川崎重工業株式会社  
ボイラ部  
〒100 東京都千代田区  
1-1-1 丸の内三丁目

合併に伴い  
**4月1日から**  
**川崎重工**  
として  
活動を始めました

# 高効率ボイラ



KS-10~30



KS-40~70

経済負荷時のボイラ効率が  
いかに高くても……  
負荷の変動でボイラ効率が  
ガタ落ちでは無意味です。

- つねに経済運転を続けるには  
広範囲の負荷においてボイラ効率が高いことが強く望まれます。

負荷20%~100%にわたり

# 88%

KSボイラは電気式全自動の3パス炉筒  
煙管ボイラで下記の機種があります。

形 式	蒸発能力 (換算)	ボイラ技士 資 格	制御方式	点火	最高使用 圧力	使用燃料
KS- 6	600kg/h	不 要	オンオフ	電気火花	7kg/cm <sup>2</sup>	灯油・A・B・C重油・ガス都市ガス・ブタンその他
KS-10	1250 kg/h ↓ 8400 kg/h	2 級 1. 級 特 級	燃 焼 は 比 例 オ ン オ フ 給 水 は オ ン オ フ *	プ ロ パ ン ガ ス ま た は 都 市 ガ ス	7kg/cm <sup>2</sup>	
KS-15					10kg/cm <sup>2</sup>	
KS-20					16kg/cm <sup>2</sup>	
KS-30					10kg/cm <sup>2</sup>	
KS-40	16kg/cm <sup>2</sup>					
KS-50	10kg/cm <sup>2</sup>					
KS-60	16kg/cm <sup>2</sup>					
KS-70						

\*給水制御はご要望により比例制御にすることもできます。

## ●実績あるボイラメーカー……………

わずか2~3年でも実績……………KSボイラのように70年の実績でも 実績といえます。日本で最初に蒸気機関車を作った会社、それが文字どおり当社です。

煙突からけむりをはいて走る汽車…あの蒸気機関車が炉筒煙管ボイラ《KSボイラ》の生きた実績といえましょう。

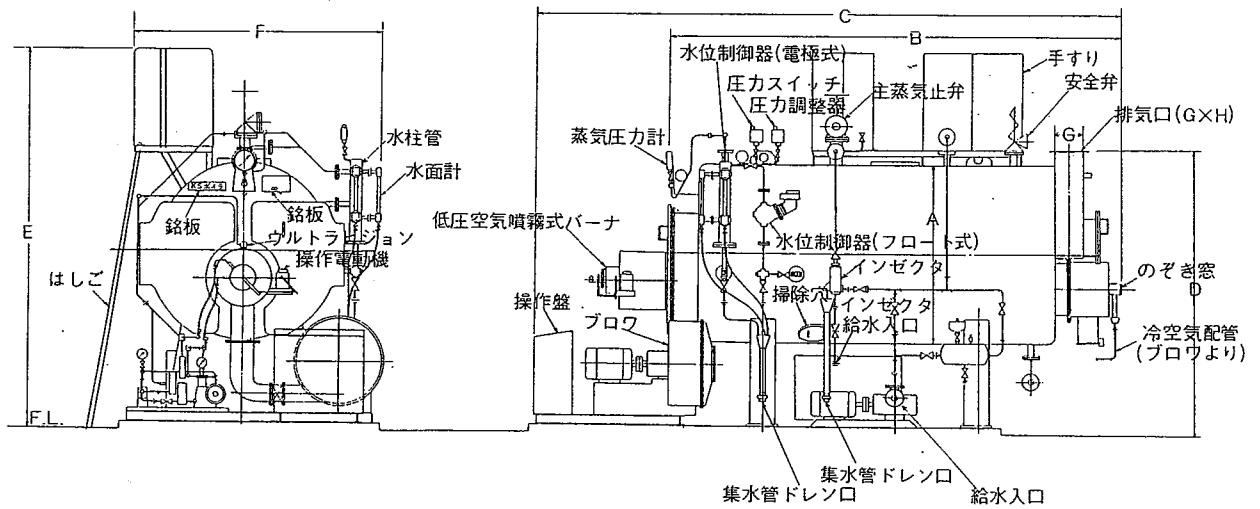
当社のボイラ製作の歴史は古く1901年〈明治34年〉機関車のボイラを作ったことに始まり、1917年〈大正6年〉純国産の“タクマ式水管ボイラ”を完成。いらい本格的ボイラメーカーとして発展しました。

多年の研究、豊富な経験を生かし、大は発電用のベンソンボイラから小は家庭用A-3ボイラまで 各種のボイラを製作しております。中でもKSボイラは、設計の技術・製作の技術に70年の年輪を加えた“技術の結晶”ともいえるものであります。

ボイラ形式	KS-10	KS-15	KS-20	KS-30	KS-40	KS-50	KS-60	KS-70	
換算蒸発量 定格 kg/h	1250	1850	2500	3700	4800	6000	7200	8400	
出力(熱量) 定格×10 <sup>3</sup> kcal/h	674	997	1348	1995	2586	3233	3879	4526	
相当放熱面積 定格 m <sup>2</sup>	1040	1540	2070	3070	3975	4970	5970	6960	
最高使用圧力 kg/cm <sup>2</sup>	(7)10	(7)10	(7)10	(7)10	10	10	10	10	
伝熱面積 m <sup>2</sup>	18.0	24.3	34.2	49.0	55.4	68.2	85.3	94.4	
重油消費量 定格 kg/h	77	115	155	229	297	371	445	520	
主要弁類	主蒸気弁 mm	65	65	80	100	100	100	125	125
	安全弁 mm	40	40	40	50	40×2	40×2	50×2	50×2
	吹出弁 mm	40	40	40	40	40	50	50	50
電気設備 容 量	押込送風機 kW	3.7	5.5	7.5	11	11	15	18.5	22
	給水ポンプ kW	(2.2) 3.7	(3.7) 3.7	(3.7) 5.5	(3.7) 5.5	5.5	7.5	7.5	11
	バーナモータ kW	—	—	—	—	2.2	2.2	3.7	3.7
	重油ポンプ kW	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.75	0.75
	重油加熱器 kW	3	4	6	8	7	8	9	11
	C重油予熱器 kW	2	3	4	6	4	5	6	7
全装備ボイラ本体概算重量 t	(4.6) 4.8	(4.9) 5.1	(6.2) 6.7	(7.7) 8.2	10.4	11.5	15.7	16.1	
ボイラ満水時 t	2.8	2.8	3.6	5.4	7.5	9.5	13.3	13.2	
保有水量 常用水面時 t	2.2	2.1	2.8	4.0	5.2	6.9	9.0	9.6	
ボイラ保温面積 m <sup>2</sup>	14	15	18	23	31	34	45	45	
排気筒直径 mm	290	340	385	480	550	600	650	700	

注 1. ( )内は、最高使用圧力7 kg/cm<sup>2</sup>の場合を示します。  
 2. 重油消費量は低発熱量9900kcal/kgの重油を使用する場合を示します。  
 3. C重油予熱器はC重油使用の場合やB重油使用でご要求がある場合に付属するもので、重油サービスタックに内蔵します。

●KS-6~30



ボイラ形式	KS-6	KS-10	KS-15	KS-20	KS-30	KS-40	KS-50	KS-60	KS-70
胴 径 A	860	1470	1470	1620	1820	2050	2230	2380	2380
全 長 B	2510	3530	3685	3865	4395	4955	4970	6070	6070
装備全長 C	3175	4570	4750	4950	5620	5800	5800	7000	7000
高さ D (1740)	2190	2190	2190	2360	2600	2780	2920	3150	3150
全 高 E	2250	2950	2950	3160	3390	3570	3700	3950	3950
全 幅 F	1400	2190	2190	2360	2570	2810	2990	3140	3140
排気口 H×G	320φ	250×480	250×480	250×650	300×800	400×800	400×1000	400×1200	400×1400

●KS-40~70

